

人口動態 (十月末)

世帯数 一七、一六〇
人口数 七、五七九

出生 一七人
死亡 二八人
転入 七四九人
転出 二九二人

前住地未登録等 増五人、減六人
転出 二九二人
世帯増加 二二八
人口増加 五四五人

(住民登録人口による)

発行所 北海道苫小牧市役所
編集発行人 伊藤 一 男
昭和28年6月28日
第三種郵便物認可

市広報

とまごまい

昭和38年11月20日 才374号 毎月1、10、20日発行 (定価1部5円)

雑貨ふ頭十五日から使用開始

神永丸一千四百トンの初荷を積んで出港

石炭、雑貨両岸壁完成で重要港湾としてスタート

苫小牧港の西ふ頭使用開始を祝う修ばつ式は、十五日午前十時半から花火合図にふ頭岸壁で神官によりおこそかに行なわれました。

この日は、好天に恵まれ道知事(代理高瀬正土木部長)をはじめ、道開発局長(代理木田茂局次長)第一管区海上保安本部長奥村文吾氏、北海海運局長(代理菅原善作総務部長)西田参議など関係者百

五十人余りが参列いたしました。式典のあと、大泉市長は藤原市議会議長、藤田商工会議所副会頭らとともに、当日午前六時ころ入港、ふ頭岸壁に接岸、初の荷役作業中の第一船栗林商船所属の神永丸(二千九百八十四総ト)を訪れ、石川正一船長(三八)に花束を贈りました。引き続き(写真は、西ふ頭岸壁における修ばつ式)

ふ頭岸壁の市営一号上屋で盛大な祝賀会が開催されました。第一船神永丸には、北旺運輸、苫小牧海陸運送、苫小牧三社の荷役作業により王子製紙の新聞紙巻き取り一千ト、国策パルプの上質紙板

じめ八十ト、同五ト詰めコンテナ十二個六十ト、岩倉組の製材八十七ト五、同原木百ト、三井木材の原木六十六ト六など約千四百トの初荷を約七時間で積んで午後四時ころ、東京港に向け出港いたしました。

これでも苫小牧港は、石炭、雑貨両ふ頭とも使用を開始し、本道の重要港湾としてはなほなく新発足したわけ、ようやく港らしい活気を呈しております。

宅地などの評価の不均衡を是正

新基準で適正な時価に評価替え

固定資産の評価替え どのように変わるか (その1)

固定資産税の基礎となる固定資産(土地、家屋(償却資産))の評価額は、地方税法で、三年度ごとに改正することに定められています。現在の評価額は昭和三十六年度に改正されたものを据置きのまま使用してありますが、昭和三十九年度がその評価替えの年度にあたりますので、市税務課では土地、家屋とも自治省で示した評価基準によってこの評価替えの調査を実施しています。

この評価替えについていろいろと疑問または誤解されている方があろうかと思われ、今までにわかった範囲内において「どのように評価替えが行なわれるか」お知らせし評価替えに対する協力をお願いいたします。

固定資産再評価の理由とその内容

一、昭和三十九年度の固定資産から、固定資産の評価は、新しい評価の方法によって行なわれます

①固定資産の評価が新しい評価の方法によることとなったのは、土地、家屋および償却資産の各資産を通じて、適正で均衡のとれた評価を行なうためのものです。評価の方法が改

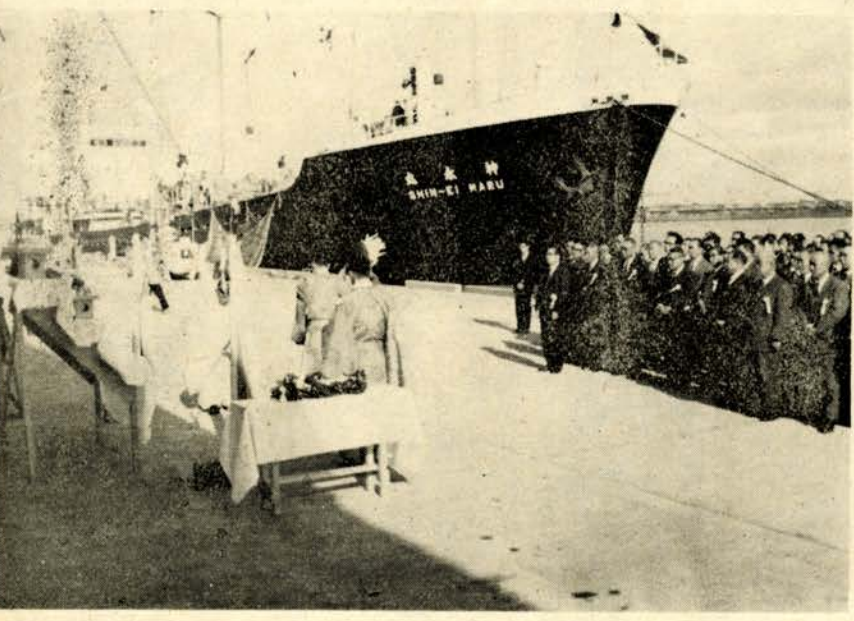
められることによって、従来の評価額に変動が生ずることとなりますが、評価額の変動は適正な評価といふことから出てくるもので、それにより従来以上の税負担の増大を求めようとするものではありません。

②現在、土地、家屋および償却資産の各資産を通じて、評価に極めて不均衡があるといふことは、最近の著しい地価の騰勢に応じて土地の評価が引き上げられなかったことによる

行政についての苦情やお困りのことは

町18 正一郎氏
表 戸東 春明氏
政 錦町1 春明氏
行 相談委員 薦森

☆毎月1日、市役所で行政苦情相談を行なっております。どうぞご利用ください。



として保存しておいてください
いつか役にたつことがあります

増加率は全道第一位

市発展に呼応して急増

総理府統計局主管の昭和三十八年事業所統計調査が、七月一日現在で全国一せいに行なわれ、その概数が北海道統計課でもとめられました。

昭和三十五年の結果にくらべ、増加率の最も大きい市は、第一表で示すように苫小牧は全道二十八市のうち第一位をしめ、増加率は六〇・〇％ついで、旭川、北見等の順となっています。

事業所統計調査

第1表 道内各市事業所統計調査結果 (増加率6位まで)

市名	昭和35年	昭和38年	増加率	順位
苫小牧	1,653	2,645	60.0	1
旭川	8,171	10,992	34.5	2
北見	2,130	2,859	34.2	3
札幌	19,518	26,068	33.6	4
根室	1,311	1,730	32.0	5
蘭越	3,684	4,666	26.7	6
28市計	84,701	102,473	21.0	—
全道合計	145,547	168,089	15.5	—

この結果表には下記の事業所が含まれていない(国公営、第一事業所(郵便局、国鉄関係等)3、公営に属する事業所(税務署、検察庁、警察署等)2)

た増加率の大きいものではないが、これは人口世帯の増加に即応したアパート業、貸家業等の増加

市では、ことしも十二月一日から十五日まで全市にわたり歳末たすけあい運動を行ないます。これは不幸な人びとがみな明るく楽しいお正月を迎えることができるように市民みなさんの暖かい気持を現わしていただくものです。期間中、各町内会、部落会の役員などがみなさんのご家庭をおたずねして現金やお米を集めることになっております。昨年は一

金品の配分はクリスマス前に (1日から15日まで) 歳末たすけあい運動

☆みんなそろって明るく楽しいお正月を☆

によるものです。建設業、運輸通信業、サービス業、

さらに卸売小売業等の増加も、市勢の発展を端的に示しているものといえるようです。各産業別の増加率が全道二十八市中における順位でそのほとんどが一位をしめていることも注目されます。

第2表 産業別構成比増加率 (苫小牧市)

産業別	昭和35年		昭和38年		増加率	順位
	実数	構成比	実数	構成比		
建設業	7	0.4	11	0.4	57.1	7
製造業	86	7.2	190	7.2	120.9	1
卸売業	91	4.4	116	4.4	27.4	1
小売業	967	53.1	1,403	53.1	45.0	1
金融業	39	2.1	56	2.1	43.5	1
運輸業	8	0.5	149	5.6	1,762.5	1
通信業	29	2.2	58	2.2	100.0	1
水道業	6	0.3	9	0.3	50.0	1
電気業	420	24.7	653	24.7	55.4	1
計	1,653	100.0	2,645	100.0	60.0	1

新入学児童の受付け一日から

入学予定数は一千三百二人です

来年四月に新しく市管内小学校(十四校)に入学する児童の申告は、来月一日から各学校と市教委で受付けを開始いたします。市教委で十月一日現在、住民登録などにより調べた新入生予定総数は千三百一人で、今春四月の入学総数二千八百八十六人に比べると十六人の増となっておりますが、年々児童数は少なくなっており、増を考慮しても全体として大きな増減はみられないものと予想され

- ております。
- 各小学校別の新入生予定数はつぎのとおりです。(カッコ内は今春の入学児童数)
- ▽東小(二六七)▽西小(一六八)▽若草小(一七〇)
 - ▽一五八)▽緑小(二二七)
 - ▽北光小(一〇七)▽大成小(二四一)
 - ▽勇払小(八五)▽小(二〇八)▽錦岡小(三四)
 - ▽沼の端小(一八)▽樽前小(二二)
 - ▽植苗小(七)▽柏原小(一九)▽丸山小(四)
 - ▽静川小(なし)

新規港湾整備計画

画を協議 苫小牧市港、湾審議会、

苫小牧港の開発利用や管理など重要事項を市長が諮問するため、三十六年十一月新発足した苫小牧市港湾審議会(第五回)は八日、市役所三階議員会議室で開かれました。王子製

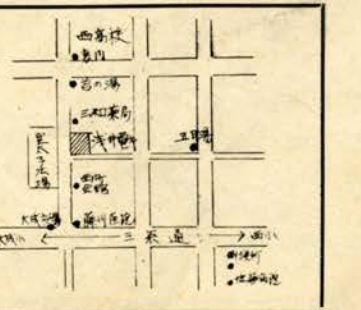
紙苫小牧工場長早川昇委員ら各委員顧問など約三十人余りが出席、任期(二年)満了による正副委員長を互選の結果、委員長に檜山千里氏(東海臨港開発KK道事務所長)を再選副委員長に富岡忠二氏(苫小牧船主協会長)を新たに選任しました。このあと、市秋田港湾部長から①西ふ頭一号岸壁の供用開始②市営上屋の運営③港湾係留施設特別利用料④航路標識の設置計画などについて報告があり、引き続き諮問第一号苫小牧港新規港湾整備計画について協議しました。

これは、さきに運輸省、開発庁から示された苫小牧港整備改定五カ年計画案(三十九年度から四十三年度まで)に基づいて中央の港湾審議会に提出するため、さらに五年度までの将来計画を織りこんだもので、これに対し同審議会として北洋材などの輸入陸揚げに要する岸壁の整備や水面貯木場の新設などを要望しました。市では、同審議会の答申を得て新規苫小牧港港湾整備計画を今年中に運輸省に提出することになっております。

住宅用のカギを 十月中旬、落とされた方へ 勇払小学校の生徒が同校々庭で住宅用のカギ二個を拾いました。心当たりの方は、勇払出張所に保管してありますからおいでください。(市民生課住宅係)

十二月分生活扶助費は 二日に支給します

生活保護法による生活、住宅教育扶助費十二月分は二日(月曜)午後一時から午後四時までの間に支給します。



20日より 新築移転特売セール

各種電気製品

長い間ご不自由をおかけして居りましたが、お蔭をもちまして此度西町会館横に新築開店致しました。誠実をモットーとして努力して参りますので何卒一層のお引立をお願い致します。

西町15 浅井電気商会 T4235

ランプ生活とお別れ

錦岡と弁天開拓52戸に文化の灯

ランプ生活だった錦岡開拓農家(理想郷)二十戸と弁天開拓農家の一部(弁天沼の西側と南側)三十二戸に十月二十六日から待望の文化の灯がともりました。

錦岡開拓は九月から弁天開拓は十月から電化工事に着手していったもので、工費は錦岡開拓は三百六十八万八千円(道補助金二百七万二千元、個人負担百三十一万一千円、市助成金四十八万五千円)弁天開拓は五百三十八万八千円(道補助金三百七十四万六千円、個人負担九万四千四百円、市助成金三十八万七千六百円)となつております。

これで市管内の無灯火地帯は、植苗(西、北)二十一戸、美沢五戸、樽前十九戸(山側八戸、浜側十一戸)

弁天浜の一(厚真寄り)三戸の合計四十八戸となりました。

みことな出来ばえ

市管内農産物品評会

第十五回市文化祭行事のひとつとして、市管内農産物品評会は六日、産業会館で行なわれました。丹誠こめをつくった作物六種合計九十五点が出品され審査の結果、つぎの十八人が入賞しました。

【小豆】①伊藤愛次郎(静川)②加藤幸吉(樽前)③真部修(糸井)、山本登(錦岡)

【雑穀】①伊藤愛次郎(静川)②金時③大槻昌(植苗)④黒大豆、綱木哲夫(弁天)⑤金時⑥高橋昌夫(糸井)⑦トトキビ、八島久則(糸井)⑧トトキビ、柳原博(樽前)⑨トトキビ

【ニンジン】①八巻三郎(柏原)②伊藤愛次郎(静川)③矢内兵衛(拓勇)④鈴木繁雄(柏原)

【葉菜類】①佐藤貞(柏原)②白菜③佐藤貞(柏原)④キヤベツ、田

中英雄(錦岡)①白菜②矢内兵衛(拓勇)③カボチャ、佐藤徳次郎(糸井)④ホウレン草、木津勇太郎(拓勇)⑤長ネギ

【根菜類】①瀬田川重太郎(樽前)②長イモ③北向サト(樽前)④ゴボウ、前川専作(樽前)⑤長イモ⑥前川富重(樽前)⑦ゴボウ、斉藤彰男(植苗中央)⑧正護院大根

【ほれいしよ】①鈴木繁雄(柏原)②藤井昭典(弁天)③斉藤彰男(植苗中央)

美談

(市社会福祉協議会扱い)
▽二千五百円 勇私一四三助産婦高野英方佐藤美智枝(五)「苦小牧で拾ったサイフの落とし主から贈られた謝礼金をそのまま寄託」十二日

市育英会に二十万円
寄付 緑町井上キヨさん(緑町46井上キヨさん宅へ、十月一日)

まもったわけです。司会一最後に八王子千人隊士の墓をめぐらせて下さっている勇私自治会長の高野さんにごあいさしを願います。

高野はるばる八王子からお客さまをおむかえしての意義ある会で、

千人隊の精神をついで発展に寄与

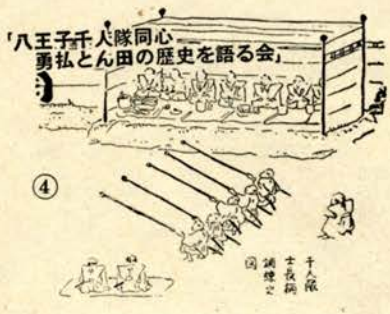
識見者を集め、議会からは私はいって委員長をつとめ、年間予算も六十万円ほどもらって活動しています。

森田 当市としては決して関心がないうわけではなく、すでに文化財保護条例をつくってさきほどの墓地など文化財の保護にあたってきております。

小野 文化財専門委員会は苦小牧にはありませんが、北海道として文化財保護委員会があって、金道各地の文化財の保護にあたっていているので、その点いままでも支障はな

本当にありがとうございます。八王子千人隊の熱烈たる精神は私たちがひき継いで、苦小牧の発展に、北海道の発展に寄与していきたいと思ひます。

司会一では、どうもありがとうございます。



三人から成る委員会があり、学校の先生、僧りよ、神主などの学

第七回市勢要覧用と 広報用写真コンテスト

毎回多くの写真同好者からご協力をいただいている市勢要覧掲載写真および広報写真を、今回もつきつきの要領で募集いたしますから、ふるって応募ください。

▼題材 市勢要覧および市広報紙に掲載するものですから、ニュース性に富むものが望ましいです。

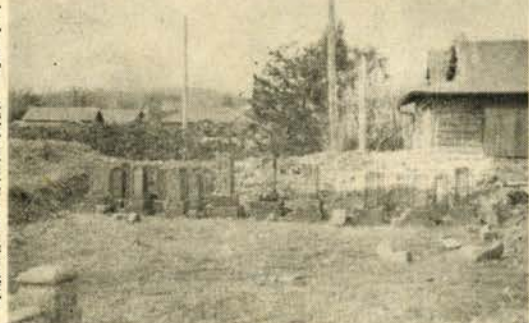
▼大きさ キヤベネ版
▼締切 一月末日
▼送り先 市庶務課広報係
▼賞 入選一席三千円相当一点
入選二席二千円相当一点、入選三席一千円相当一点、佳作五百円相当一点、参加賞全員

▼発表 二月末本人あてに通知するほか、市広報「とまこまい」に掲載いたします。

▼応募上の注意事項 ①応募者はつぎの事項を承知のうえご応募ください。

①応募資格は市内居住者で年齢は問わない ②応募点数は制限しないが、未発表のものであること ③応募作品ごとに住所、氏名、年齢、テータと簡単な説明を裏面に記入すること ④応募作品は一切返却しません ⑤応募された作品は入選、非入選にかかわらず市勢要覧および市の刊行物に使用します ⑥くわしいことは市庶務課広報係(T3322)にお問合せください。

て二十万円を寄付しました。



▽付記 紙数の関係その他で発言

(写真は、八王子市にある河西家の墓所、向かって右から七番目が河西祐助の墓)

〔出席者〕 〓 順不同敬称略 〓
▽八王子側 上保広吉、大野正勝、河西重蔵、河西寅吉
▽苦小牧側 森田勇、門脇松次郎、小野慶郎、築地新一、高野丈夫ほか
市職員、勇私自治会、郷土文化研究会、ヒューム管工場社員あわせて十名出席
▽司会 近江謙三
▽記録 畑宮清一郎、立谷菱司

したかたがたの一言一句をそのまま掲載することができなかったことをおわびいたします。

男女従業員募集

- ★男 子=小型免許所有者20才位、若干名
- ★女 子=中卒または高卒者、22才まで、若干名
- ★申 込=緑町20、苦小牧パートセルフ部、桜井まで
- ★面接期日・場所=26日前9時~後6時、産業会館2階(履歴書持参のこと)



苦小牧パートセルフ部(株) T3346

≡ 小学校一年生になられる

お子さんの申告について≡

明年4月1日に新しく小学校に入学する児童の申告事務を次のとおり取扱うことになりましたので該当児童のおられる方は必ず期限内に申告して下さい。

なお例年期限を超過してから申告される方がありますが学級編制その他重要な教育事務に大きな支障を来すこととなりますので特に申告の期限を守られるようお願い致します。

◎申告しなければならない児童は

※昭和32年4月2日から昭和33年4月1日までの間に生まれた者

※昨年病気その他事情で就学猶予を受けていた者

◎申告用紙は11月21日から次の場所で配付いたします。

※東、西、若草、緑、北光、大成の各小学校通学区域の方はそれぞれの小学校、市民館又は市教育委員会

※勇払小学校通学区域の方は小学校又は市役所勇払出張所

※上記以外の学校に通学する方はそれぞれの小学校

◎就学猶予について

新入学児童で病気その他の事情で就学できない者又は昨年就学猶予された者で尚引続き就学猶予を必要とする者については認可を受けなければなりませんので就学猶予願書（用紙は教育委員会に用意してあります）と申告書に医師の診断書を添えて市教育委員会に願出下さい。

◎申告書の受付期間及び受付場所

受 付 期 間	受 付 時 間	受 付 場 所
12月1日から 12月3日まで 3日間	午前9時から 午後4時まで	緑 小 学 校
" 4日から " 5日まで 2日間	午前9時から 午後4時まで	北 光 小 学 校
" 6日から " 8日まで 3日間	午前9時から 午後4時まで	西 小 学 校
" 9日から " 10日まで 2日間	午前9時から 午後4時まで	若 草 小 学 校
" 11日から " 12日まで 2日間	午前9時から 午後4時まで	大 成 小 学 校
" 13日から " 15日まで 3日間	午前9時から 午後4時まで	東 小 学 校
" 1日から " 5日まで 5日間	午前9時から 午後3時まで	勇払、錦岡、沼の端、樽前、植苗、柏原、丸山、静川の各小学校

※上記のほか12月1日から12月15日までの間（但し日曜を除く）市教育委員会においても受付いたします。

◎その他詳しいことは市教育委員会にお問い合わせ下さい。

苫小牧市教育委員会

（電話代3121番）